

大阪府摂津市民の健康・栄養とウェルビーイングに関する縦断調査



摂津の未来をつくる アンケート調査

健康で住みやすいまちをつくるため、医薬基盤・健康・栄養研究所は摂津市と協力し、市民の皆様の生活や地域の特徴等を明らかにする調査を行います。

調査結果は、市民の皆様の健康づくりにつながる効果的な取り組みへの提案、将来の政策やまちづくりに活かします。さらに今後の日本や世界の健康づくりにつながるとても大切な調査です。

是非、ご協力くださいますようお願いいたします。

対象となる方

摂津市に住民票のある18歳以上の方

(要介護3以上の認定を受けた方を除きます)

調査方法

- ①調査票（アンケート）を
2月下旬より、ご自宅に順次配送
- ②説明文書を読んで、調査同意のサイン
- ③ご自身で回答
(調査票のご家族間での取り違えにご注意！)
- ④返信用封筒に入れ、
3月29日（金）までに
ポストへ投函（消印有効）

ご回答者の中から抽選で

2,000名に1,000円分のクオカードをプレゼント！！



調査に関する詳細はこちらをご覧ください。

https://www.nibiohn.go.jp/eiken/settsu_study/



～調査研究にご協力（同意）いただいた方へ今後の予定～

※時期や内容は個別にご案内、またはホームページに掲載します。

R6年2～3月

アンケートに回答



* 当選者の発表はクオカードの発送を持ってかえさせていただきます。

R6年夏ごろ

集計結果のお知らせ

* アンケートの回答を集計・分析し、皆様にお知らせします。



R6年秋以降

健康・栄養に関する調査や講演会のご案内

参加自由



体力・身体活動量・筋肉量・脂肪量・栄養などの測定会のご案内
(測定会に参加された方には、個人の結果をお返しします)



※アンケート調査とともに、同意いただいた方の摂津市が管理する公的データ（医療、健診、介護保険、死亡等）の情報を分析させていただきます。

調査票が届かない、紛失された方は再送いたします。
下記問い合わせ窓口までご連絡ください。



調査実施機関・問い合わせ窓口

NIBIOHN

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所 身体活動研究部
メール：shintai-madoguchi@nibiohn.go.jp

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所とは

1920年に内務省の「栄養研究所」として東京に設立された栄養学に関する世界最初の国立の研究所です。公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的とし、国民の健康保持・増進及び栄養・食生活に関する調査・研究を行っています。毎年実施する国民健康・栄養調査や、機能性表示食品・特定保健用食品（トクホ）に代表される健康食品に表示通りの成分が含まれているかの試験などを実施しています。また、5年ごとに改訂される食事摂取基準や、現在改訂作業中の身体活動や運動の基準の策定に貢献しています。

1989年に国立健康・栄養研究所に改称、2015年に医薬基盤研究所と統合により設立された国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所の構成組織となり、2023年に大阪府摂津市の北大阪健康医療都市（健都）に移転しました。

